

# コンサートレポート

## ◆ 1月7日宇都宮SE20周年記念イベントを聴いて

毎回楽しみにしているこの宇都宮シルバーアンサンブルは創立20周年を迎えました。おめでとうございます。この記念演奏が新年早々に見られて今年はずばらしいスタートが出来ました。会場は地元「ろまんちっく村ローズハット」という場所、ガラス張り円筒形で光がいっぱい入りとても明るく音響が良いホールでした。

第1部は宇都宮シルバーアンサンブルの単独演奏、初めのアニーローリーよりワルツの曲もあり、タンゴの2曲はアレンジも最高に良くすばらしい演奏になり、立見席も出る約600名の観客はすっかり聞きほれていました。第2部「みんなで歌おう」といったコーナーで古今の名曲が20曲も続けて全体で合唱され、心に響くメロディーがいつまでも、心に残り、すばらしい新年の門出になりました。宇都宮シルバーアンサンブルは20年もの間、このような「市民と歌おう」イベントを続けてこられたことで大変、感心し、勉強になりました。末永いご活動をお祈りします。      デューク・グリーン・サウンド 佐野敬次



## ◆ つくばシニアアンサンブル第2回定期演奏会に参加して <平成30年3月18日。於、つくばカピオホール>

第2回定期演奏会が成功裏に終えられましたことに対してお喜び申し上げます。この度は、ステージマネージャーという立場で、舞台袖から演奏を拝聴させていただき貴重な体験をさせていただきました。そして、客席で聴かせていただくのとはまた違った感覚でメロディーが身に染み入る思いがいたしました。

第1部ではドボルザークのスラブ舞曲第10番と交響曲8番第三楽章を、さらに、モーツァルトのアイネ・クライネ・ナハトムジークと交響曲第25番と、何とクラシックの大曲4曲で構成するという大きな挑戦をされたことに感服いたしました。第2部では、一転して日本の童謡や懐かしい歌謡曲、そして、アニメソングなどでゆったりとした気分を味わうことができました。アンコールに於いてのマイウェイの演奏では、目を閉じ、我が青春時代を脳裏に浮かべながら聴き入ってしまいました。きっと、会場のお客様も心が豊かになった思いを抱きながら嬉々として家路につかれたのではないかと思います。最後に、団員の皆様、受付・会場整理等に当たられた関係の皆様、大変お疲れ様でした。今後とも、お互いにシニアアンサンブルの活動に邁進してまいりましょう。(取手SE 柿本譲)

## ◆ 水戸SE 発足記念コンサート



2月3日(土)水戸市の茨城県総合福祉会館ホールにおいて水戸SE発足記念コンサートが催された。当団は昨年6月に発足したが、市内に既存の楽団が多いことや募集手段に色々な制約があって、団員8名という状況を善処するために開かれたものである。

幸い、茨城県連盟の他楽団から全面的な応援を頂き、牛久SEは2部の賛助出演のほか、第1部の当団の演奏にも3名がエキストラとして出演、取手SEは司会、記念写真、場内整理、受付、石岡SEは3名のエキストラ出演とステージマネージャー、(つくばSEは練習日のため不参加)、指揮者は第1部、第2部とも管新先生が引け受けて下さった。心配された雪も降らず、音響もよく全員が熱演して、120名のお客様にも大好評だった。

お陰様で入団者が3名(ピアノ、クラリネット、マンドリン)あった。今後ともこのような市民向けミニコンサートを続け、団の充実を計るよう団員一同、張り切っている。(全シ連 岡村)